特集

自分のため、大切な人のために

もしもに備えて 女性のためのがん検診

日本ではがんで亡くなる人が年々増加し、死因第1位の状況が続いています。がんは早期発見できれば治る可能性が高い疾患です。定期的な検診を受けることで、早期発見・治療を行い、自分自身の体を守りましょう。女性のがん検診を受けられる医療機関をご紹介します。

がん検診 3つのポイント

1 早期発見できる

2 近所で受診できる

3 安価な受診料金

がん検診受診の流れ

①受診対象か確認する

今年度の乳がん・子宮頸がん検診の対象は、和暦で偶数年生まれの女性です。（例：昭和52年など）

※個別の案内は送付していません

◀

②どの検診を受けるか決める

市の検診には、個別検診と集団検診があります。大東市健康カレンダーを参照。

〈個別検診〉
各医療機関で実施
●予約＝医療機関

〈集団検診〉
すこやかセンターで実施
●予約＝すこやかセンター

◀

③受診する

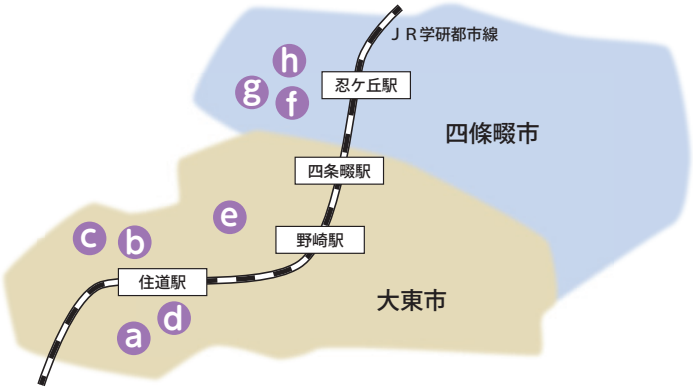
¥乳がん検診：千円、子宮頸がん検診：400円

検診結果に異常がある場合は、精密検査を受診してください（保険診療となります）。

市では、他にもさまざまな検診を実施しています。自覚症状のある人は、保険診療で受診してください。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況で実施を見合わせている場合があります

女性のためのがん検診
医療機関



乳…乳がん検診　子宮…子宮頸がん検診　…ネット予約可
…女性医師・技師（一部ありを含む）　P…駐車場
…バリアフリー　…キッズスペースあり　…夜間あり
土…土曜日あり

詳細は各医療機関にお問い合わせください。

ⓐ医療法人たかばたけウィメンズクリニック

女性に優しいクリニック

精密検査や高次機関への紹介など、長期間にわたり健康管理をお手伝いします。産婦人科医、レントゲン技師は全員女性です。

乳　子宮　子宮のみ　P　子宮のみ　土

ⓑ井上産婦人科クリニック

診察中は、保育士がお子さんを預かります

日頃から不安や悩みを相談していただけるように取り組んでいます。安心して受診していただけるよう心掛けています。

子宮　P　午前のみ　土

ⓒ小林産婦人科クリニック

一人一人に合ったスタイルでサポート

子宮頸がん検診は、受付から会計まで約20分間で終わります。

子宮　P　土

ⓓ医療法人恵和会恵和会総合クリニック

女性のための検診を受けてみませんか

リラックスして検査を受けていただくために、女性専用のレディースフロアを設置。女性医師・女性技師が担当します。

乳　子宮　P　土　子宮のみ

ⓔ医療法人徳洲会野崎徳洲会病院

検診は未来のあなたへの贈り物

乳がん・子宮頸がん検診を同時に受診可。同時受診も、受付から会計まで約30分で終わります。精密検査に対応しています。

乳　子宮　P　土

ⓕふくだクリニック

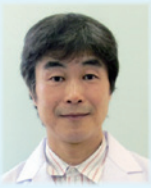
気になる・症状があれば、すぐ相談

不快感や痛みが最小限になるよう丁寧な診察・説明を心掛けています。

子宮　P　土

ⓖ社会医療法人信愛会曛生会脳神経外科病院

幅広い検査を実施しています



最新医療器具を導入しています。分かりやすい説明を心掛けています。気軽にご相談ください。受付から会計まで約30分間で終わります。

乳　P

ⓗ福田産婦人科医院

2年に一度は子宮頸がん検診を

産婦人科専門医が担当します。

子宮　P　土

2年に1回は乳がん検診

早く見つける、元気に生きる

乳がんは、日本人女性が最も多くかかるがんで、その発症には女性ホルモンが深く関わっています。早期に発見された場合、5年相対生存率は90％以上ととても高いため、定期検診が非常に大切です。がんはさまざまな要因でかかる病気ですので「私はがんの心配はない」などの油断は禁物です。

乳がん検診受診の流れ

①予約
3ページを確認してください。

②問診
ご自身で記入した問診票をもとに、既往歴などを確認します。食事制限などはありません。時期は月経後がおすすめです。（大東市健康カレンダー11ページの乳がん検診の注意事項をご確認ください）

③視触診

④マンモグラフィ
マンモグラフィは乳腺・乳がん専用のレントゲン撮影です。乳房を片方ずつ挟んで撮影し、しこりの有無や大きさなどを調べます。
※乳がんエコーは実施していません

実際は服を脱いで撮影

⑤検査結果
郵送または直接病院で話を聞きます。

2年に1回は、定期的に検診を受けましょう

早く見つかってよかった　がん検診体験者の声

乳がん検診　Nさん（59歳）

40歳から乳がん検診を受診。50歳の検診で精密検査が必要となり、結果は経過観察に。2年目に乳がん疑いとなる。53歳で乳がんと診断。温存手術後、再発予防のため放射線、服薬治療。

2年に1回、たった数分の苦行（笑）を乗り切れば安心が得られると信じ、乳がん・子宮がん検診を受けてきました。ドクターの触診でも分からないほどの微細ながんだったので、手術を含め3日間の入院、後遺症なく仕事復帰でき、以前と同じように生活しています。

子宮頸がん検診　Fさん（29歳）

22歳から子宮頸がん検診を受診。26歳の時に検診で精密検査が必要となる。結果は前がん病変で、経過観察に。3か月ごとの検査で、高度異形成※と診断されたため、28歳の時に子宮頸部レーザー蒸散術を実施。

治療をして1年以上がたちましたが、現在も定期的に検査を受けています。将来的には妊娠も希望しているので、早めに気づくことができて本当に良かったと思っています。若い世代に、積極的に検診を受けてほしいです。

※異形成（いけいせい）とは、子宮頸がんの前段階で、程度により軽度～高度の種類に分けられます。自覚症状を示さないことが多く、子宮頸がん検診（細胞診）を契機に発見されることが多い病気です